

日置汽船	第二利洋丸	一月四日	手當各一ヶ月分
中村汽船	第五雲海丸	一月十一日	乗組員は新船主へ、手當一ヶ月分と加俵三掛け
公海漁業	ハドソン丸	一月廿一日	寶船不況のため四年十一月以來給料未拂の儘なりしも、一月十五日に至り組合は止むなく差押手續を執らんとせしも幸ひに寶船の運びに至り一ヶ月分と旅費七圓

○遭難手當に関する交渉

船主	船名	日時	解決条件
岡崎汽船	日海丸	四月十日	遭難船員手當規定を適用
八馬汽船	十八多聞丸	五月十六日	本給一ヶ月分外に旅費實費支給
八島庄太郎	豊富丸	五月十七日	遭難船員手當規定を適用
鞆商船	五洋丸	五月廿六日	乗船二ヶ年迄一月七分、三年迄二月分、三年以上二月三分旅費實費、五月分給料は解放當日まで、所持品手當二月分、見舞金六百圓
日本汽船	陽明丸	七月十日	七月十日までの給料、失業手當一ヶ月分、流失品補償一ヶ月十日分支給
山本商事	春山丸	七月十二日	所持品手當一ヶ月分、洗濯代各自十圓、七月十三日までの給料、雇入地までの旅費、遭難船員失業手當規定通り
栢野商會	豊國丸	八月三十日	遭難手當規定に準ず
岡崎汽船	永安丸	十月廿六日	〃

神戸汽船	浦安丸	十月廿六日	〃
笠原商事	三池丸	十月廿七日	〃
島谷汽船	春明丸	十月四日	〃
栢野商會	元龍丸	二月五日	〃
神戸商船	建久丸	二月廿八日	〃

○緊船解散手當に関する交渉

朝鮮汽船	讃岐丸	六月一日	緊船	給料一月半分、旅費十圓
八馬汽船	第六多聞丸	七月一日	解散	遭難手當規定により給料一月分及び失業一ヶ月間の手當及び雇入地までの旅費
菅谷汽船	第二小樽丸	七月廿七日	解散	下船者給料一月分と雇入地迄の旅費
犬上汽船	第一札幌丸	十月十二日	解散	待命準備は給料半分と食料
萬成汽船	靜洋丸	十一月四日	緊船	二年以上二月分、二年より五年まで一月半分
松谷汽船	越後丸	十一月六日	緊船	六月以下は一ヶ月五分、一年以下は一ヶ月十日分、二年半以下は一ヶ月十五日分、二年以下は一ヶ月二十日分、二年半以下は一ヶ月二十五日分、三年以下は一ヶ月半分、旅費十圓
和田權汽船	大州丸	十一月十五日	緊船	給料の二十日分
白洋商船	千代丸	十一月廿九日	緊船	緊船當日までの給料及び向ふ一ヶ月分と旅費雇入地まで
				一年以上は一ヶ月五分、三年以上は一ヶ月半分、五年以上は二ヶ月半分、旅費十三圓